**事実証明書**

記　載　例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 被災職員 | 所属部局 | ○○市○○課 | | |
| 職氏名 | 主任主事　福岡　花子 | 年　齢 | ○歳 |
| 現住所 | ○○市○○　○○－○○ | | |
| 災害発生日時 | | 令和　　○　年　○　月　○　日　13時　40　分頃 | | |
| 災害発生場所 | | ○○市庁舎　3階　階段付近 | | |
| 災害発生の  状況等 | | ○月○日14時頃、○○連絡会議から執務室に戻った福岡主任主 | | |
| 事から、「開始前に階段から転落し足と手を怪我したため、病院に | | |
| 行きたい」との報告を受けた。会議前、配布物を執務室に取りに | | |
| 行き、戻ってくる時に階段で足を踏み外して転倒し、左足首と左 | | |
| 手首を痛めたが、我慢して会議に出席したとのことであった。 | | |
| すぐに受診が必要と判断し、課の職員に付添を指示して病院 | | |
| に向かわせた。 | | |
| 翌日、被災職員から、骨折が判明したとの連絡を受けた。 | | |
| ・現認者がおらず、報告を受けた場合に作成する。  （災害発生時点を現認していなくても、その場に居合わせた者がいれば、できるだけ「現認証明書」（P23）を作成する。）  ・この「事実証明書」は、原則として直属の上司が、証明者の視点から記載する。 | | |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
| 参考事項 | | ○月○日まで休暇を取得し、○月○日に職務復帰している。 | | |
|  | | |
| 上記のとおり相違ありません。  令和　○　年　○　月　○　日    住所又は所属　○○市○○課  職氏名　課長　　○○　○○ | | | | |

（注）年月日の記載には元号を用いてください。